



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月30日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム
コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名） 富田 仁一
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員管理担当 （氏名） 山本 幸喜 TEL 042-441-0711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績（2025年12月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年11月期第3四半期	156,245	3.7	4,407	△1.0	3,590	△4.7	1,833	△11.9
2025年11月期第3四半期	150,695	3.8	4,451	△9.7	3,768	△15.3	2,081	△14.8

（注）包括利益 2026年11月期第3四半期 2,909百万円（82.4％） 2025年11月期第3四半期 1,594百万円（△56.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	73.78	—
2025年11月期第3四半期	83.75	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年11月期第3四半期	143,989	59,324	32.5
2025年11月期	136,573	57,162	33.2

（参考）自己資本 2026年11月期第3四半期 46,733百万円 2025年11月期 45,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	13.50	—	14.00	27.50
2026年11月期	—	12.00	—		
2026年11月期（予想）				12.00	24.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年11月期第2四半期末配当金の内訳（普通配当11.5円、記念配当2円）、期末配当金の内訳（普通配当12円、記念配当2円）

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	205,000	1.2	5,700	1.0	4,400	△8.7	2,100	△20.7	84.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年11月期 3 Q	25,355,800株	2025年11月期	25,355,800株
2026年11月期 3 Q	499,317株	2025年11月期	499,297株
2026年11月期 3 Q	24,856,492株	2025年11月期 3 Q	24,856,503株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済におきまして、景気は緩やかに回復し、個人消費には持ち直しの動きが見られたものの、中東情勢や為替相場の変動に伴う物価上昇などにより、消費者マインドには慎重さが続きました。

食品物流業界におきましては、インバウンド需要が続いたものの、食品の値上がりによる消費者の節約志向の継続に加え、人手不足やコストアップなど、事業環境は先行き不透明な状況で推移しました。

当社は、企業理念やこれまでの歩み、取り巻く環境などを踏まえ、今後も社会に必要とされる企業グループであり続けるために、中長期的なめざす姿として「グループビジョン2036」を策定いたしました。1966年設立以来、社訓である「創意工夫」を重ねながら、4温度帯の全国物流ネットワークを開拓してきた当社グループは、温度管理技術を活かし「作り手」と「使い手」の「つなぎ手」として、豊かな暮らしを支えてまいります。

「グループビジョン2036」実現に向けた第一歩として、2025年11月期から2028年11月期までの4カ年を対象とした第8次中期経営計画を推進しております。「物流の持続性確保と新たな価値創出」をテーマに掲げ、「国内事業の整備」「新領域の拡充と更なる開拓」「経営基盤の強化」と、3つを基本方針として取り組みを推進しております。

以上の結果、営業収益は1,562億45百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は44億7百万円（同1.0%減）、経常利益は35億90百万円（同4.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億33百万円（同11.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

（共同物流事業）

共同物流事業の営業収益は、適正料金施策や既存取引の拡大などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加があったものの、運送・倉庫のコストや労務費などの費用増加により、前年を下回りました。

この結果、営業収益は1,046億59百万円（前年同期比2.5%増）となり、営業利益は20億12百万円（同9.8%減）となりました。

（専用物流事業）

専用物流事業の営業収益は、適正料金施策や既存取引の拡大などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加があったものの、労務費の増加に加え、退職給付制度の導入に伴う費用計上などにより、前年を下回りました。

この結果、営業収益は299億85百万円（前年同期比0.5%増）となり、営業利益は10億8百万円（同9.5%減）となりました。

（関連事業）

関連事業の営業収益は、国内における施設工事の増加や、インドネシアにおける新規・既存取引の拡大などにより、前年を上回りました。利益面は、インドColdrush社の株式取得に係る一時費用の計上があったものの、増収による利益増加などにより、前年を上回りました。

この結果、営業収益は216億1百万円（前年同期比15.5%増）となり、営業利益は13億63百万円（同26.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ74億16百万円増加し、1,439億89百万円となりました。資産の増加の主な要因は、受取手形及び営業未収入金の減少8億48百万円はありましたが、現金及び預金の増加31億8百万円、有形固定資産の増加32億99百万円および無形固定資産の増加2億10百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ52億54百万円増加し、846億64百万円となりました。負債の増加の主な要因は、未払費用等の減少によるその他の流動負債の減少21億63百万円はありましたが、短期借入金の増加28億58百万円および長期借入金の増加51億76百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ21億62百万円増加し、593億24百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、為替換算調整勘定の増加2億35百万円、利益剰余金の増加11億86百万円および非支配株主持分の増加7億20百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年1月8日の「2025年11月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,529	7,637
受取手形及び営業未収入金	25,215	24,367
商品	69	245
貯蔵品	253	358
その他	2,482	3,377
貸倒引当金	△171	△176
流動資産合計	32,379	35,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,575	15,437
機械装置及び運搬具（純額）	18,737	21,182
工具、器具及び備品（純額）	4,076	4,307
土地	30,613	32,556
リース資産（純額）	3,895	3,709
建設仮勘定	8,905	7,911
有形固定資産合計	81,803	85,103
無形固定資産		
のれん	1,227	1,066
顧客関連資産	1,827	1,774
その他	3,718	4,141
無形固定資産合計	6,772	6,982
投資その他の資産		
投資有価証券	4,481	4,626
敷金及び保証金	4,254	4,477
その他	6,935	7,045
貸倒引当金	△53	△55
投資その他の資産合計	15,617	16,093
固定資産合計	104,194	108,179
資産合計	136,573	143,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	16,178	15,440
短期借入金	15,314	18,172
未払法人税等	873	469
賞与引当金	846	1,158
役員賞与引当金	75	62
資産除去債務	18	—
その他	11,733	9,569
流動負債合計	45,039	44,872
固定負債		
長期借入金	28,226	33,402
長期割賦未払金	1	183
退職給付に係る負債	319	463
資産除去債務	705	710
その他	5,118	5,032
固定負債合計	34,371	39,792
負債合計	79,410	84,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,198	4,198
利益剰余金	33,465	34,652
自己株式	△361	△361
株主資本合計	41,365	42,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,189	1,252
為替換算調整勘定	1,306	1,541
退職給付に係る調整累計額	1,430	1,386
その他の包括利益累計額合計	3,926	4,181
非支配株主持分	11,871	12,591
純資産合計	57,162	59,324
負債純資産合計	136,573	143,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
営業収益	150,695	156,245
営業原価	141,293	146,424
営業総利益	9,402	9,820
販売費及び一般管理費	4,951	5,413
営業利益	4,451	4,407
営業外収益		
受取利息	25	17
受取配当金	33	40
受取賃貸料	44	45
持分法による投資利益	16	—
補助金収入	37	24
養老保険解約差益	60	52
受取補償金	31	—
その他	83	110
営業外収益合計	332	291
営業外費用		
支払利息	900	934
貸与設備諸費用	38	39
持分法による投資損失	—	2
デリバティブ評価損	—	78
その他	76	55
営業外費用合計	1,015	1,109
経常利益	3,768	3,590
特別利益		
固定資産売却益	56	152
投資有価証券売却益	—	8
ゴルフ会員権売却益	0	31
その他	—	28
特別利益合計	56	220
特別損失		
固定資産除売却損	77	85
リース解約損	14	1
その他	—	4
特別損失合計	91	91
税金等調整前四半期純利益	3,733	3,719
法人税、住民税及び事業税	1,134	1,095
法人税等調整額	50	122
法人税等合計	1,185	1,218
四半期純利益	2,548	2,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	466	666
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,081	1,833

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	2,548	2,500
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	22	75
為替換算調整勘定	△796	377
退職給付に係る調整額	△179	△44
その他の包括利益合計	△953	408
四半期包括利益	1,594	2,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,472	2,088
非支配株主に係る四半期包括利益	122	820

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年12月1日至2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	102,154	29,838	18,589	150,582	—	150,582
その他の収益(注) 3	—	—	113	113	—	113
外部顧客への営業収益	102,154	29,838	18,703	150,695	—	150,695
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	632	974	4,485	6,093	△6,093	—
計	102,787	30,812	23,189	156,789	△6,093	150,695
セグメント利益	2,231	1,114	1,080	4,426	24	4,451

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年12月1日 至 2026年8月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	104,659	29,985	21,482	156,126	—	156,126
その他の収益（注）3	—	—	118	118	—	118
外部顧客への営業収益	104,659	29,985	21,601	156,245	—	156,245
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	584	1,020	4,462	6,067	△6,067	—
計	105,243	31,005	26,063	162,312	△6,067	156,245
セグメント利益	2,012	1,008	1,363	4,384	22	4,407

（注）1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	5,435百万円	6,084百万円
のれんの償却額	190百万円	190百万円

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2026年4月23日開催の取締役会において、インドの低温物流会社であるColdrush Logistics Private Limited (以下「Coldrush」) の株式取得および第三者割当増資の引受けを行い、子会社化することを決議し、2026年5月11日付で株式譲渡契約および新株引受契約を締結いたしました。

その後、2026年9月1日付で当該契約に基づく株式取得が完了し、連結子会社といたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称

Coldrush Logistics Private Limited

事業の内容

インド国内における温度管理保管および輸配送サービスの提供

②企業結合を行った主な理由

Coldrushは、インドに15カ所の冷凍・冷蔵庫と車両120台を有し、特にコールドチェーン物流に強みを持っております。食品メーカーや外食産業など現地企業のみならず厳格な品質管理を求める外資企業を主要顧客に持ち、インド全土において倉庫・輸配送事業を展開しております。今般、Coldrushを当社グループに迎えることにより、成長著しいインド市場における強固な物流拠点と輸送ネットワークを活かし、高品位な低温物流サービスの提供をめざしてまいります。

③企業結合日

2026年9月1日 (株式取得日)

2026年9月30日 (みなし取得日)

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得および第三者割当増資の引受けによる株式取得

⑤結合後企業の名称

変更ありません。

⑥取得した議決権比率

51.6%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得原価の対価 (現金) 2,853百万円

取得原価 2,853百万円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。